

令和8年 3月18日

登別市水道事業
登別市長 小笠原春一様

登別市水道事業ビジョン検討委員会
委員長 吉田英樹

「登別市水道事業ビジョン」の提言について

この度、登別市水道事業ビジョン検討委員会において、登別市水道事業が抱える課題について検討を行った結果、人口減少に伴う水需要の減少や、水道施設の老朽化などが主要な課題として抽出されておりました。これらの課題を踏まえ、将来にわたり市民に対し、安全で安心な水を安定的に供給していくためには、施設水準の向上を図るとともに、健全かつ持続可能な事業運営を確立していくことが重要であります。このため、本委員会では、登別市水道事業の現状及び将来見通しについて分析・評価を行い、課題解決に向けた方向性について意見交換を重ね、協議を行ってまいりました。

その結果、水道事業の目指すべき基本理念と理想像を描き、その実現に向けて事業を着実に進めていくための方策等を「安全」「強靱」「持続」の3つの観点から整理し、「登別市水道事業ビジョン」の本委員会として取りまとめましたので、別紙のとおり提言いたします。

つきましては、本提言の趣旨を十分に尊重され、水道事業の着実な実施に取り組まれることを期待いたします。

登別市水道事業ビジョン検討委員会（五十音順）

澤田 正寛
辻 弘之
中川 一成
鳴海 文昭
○福井 誠
山田 則子
山本 富美子
◎吉田 英樹
◎委員長、○副委員長

提 言 書

暮らしを守り、信頼される水道供給を目指して
～ 登別の未来へつなぐ安全な水道 ～

登別市水道事業の現状や地域特性等を踏まえ、将来の事業環境が変化した場合においても、様々な課題に的確に対応し、設定した基本目標を確実に達成するため、登別市水道事業ビジョン検討委員会は、「安全」「強靱」「持続」の3つの観点から、特に重要な取り組みとして以下のとおり提言する。

1 安全

登別市の浄水場は、建設時点の原水水質により設計・施工されているが、これまでの原水水質の変動にも適切な運転管理と、定期的な水質検査等によって清浄な水の供給が確保されてきている。浄水場以外にも、水源の保全の取り組みについて、北海道が制定した条例により指定されている水資源保全地域に影響を及ぼさないよう、適正な土地利用の確保を図るべく、各種関係機関との連携などの取り組みを維持されたい。また、給水施設である貯水槽水道設置者に対しての情報提供や、水道水質をはじめとする水道に関する広報、相談窓口の設置等、登別市と市民が情報交換出来るような方策を検討されたい。

日々供給している水の安全性を、水源から給水栓に至る全ての段階において、これからも一層高いレベルで確保するよう図られたい。

2 強靱

主要な水道施設については、建設年度を踏まえると現行の耐震基準を満たしていない可能性があるものと判断される。また避難所等の重要施設への配水管については、災害時の給水確保のため早急な耐震化が必要である。策定済みである「水道施設耐震化計画」に基づき、耐震診断・補強の実施及び耐震管への更新を計画的に推進されたい。

また、災害等により被災した場合の応急給水や応急活動を円滑に実施できるよう災害マニュアルの拡充を図り、市民に対する情報提供や共同訓練などを行い、災害時における応急給水が確実に実行されるような体制の構築を図られたい。

3 持続

今後、登別市水道事業として安定した給水を持続していくためには、耐震化やダウンサイジングを考慮した計画的な施設整備を行っていくことが必要である。そこで、経営状況の改善が最も重要であると考えられる。このため、水道料金の最適化に関する検討に力を入れ、アセットマネジメントの着実な実践など長期的な視点で取り組みを図られたい。

さらに、室蘭市との共同施設である千歳浄水場の今後の運用方針は、更新時期の迫る幌別浄水場の今後の運用方針に大きく影響するため、早急に決定する必要がある。よって、室蘭市と協議を継続し、早急に方針を決定されたい。

また、事業運営の効率化を図るため、近隣水道事業体との広域化への取組みを検討し、さらに、水道サービスの確保や技術レベルの向上など図れるよう、民間企業の技術力を活用する方法と可能性を検討されたい。

そして、水道事業の運営全般に関しては、市民への積極的な情報提供を図り、また、水道週間等のイベントでのPR活動を継続的に行い、市民の水道の利用促進や、水道事業への理解・協力を得るよう努められたい。

4 「登別市水道事業ビジョン」を実効性のあるものに

令和7年5月から始まった5回にわたる委員会での協議を終え、このたび「登別市水道事業ビジョン」の策定とその具体的な推進に向け、「安全」「強靱」「持続」の3つの観点から、特に重要な取組みを提言させて頂きました。

8名の委員からは、毎回、約2時間の委員会において、それぞれの立場から熟考を重ねた的確な意見を頂きました。

具体的には、下記のような内容の意見を頂き、「登別市水道事業ビジョン」に反映させています。

- ・水道料金のあり方や水道施設の必要性について、市民に知っていただくきっかけが必要である。市民が飲料水として使用する水量が増加すれば、給水収益も増加すると考えられる。そのため、水道のPRを推進すべき。
- ・情報公開の取組みに加えて、市民からの意見聴取も実施したほうがいいのではないか。
- ・水道水や水道関連施設に異変があった場合に、相談できる体制が欲しい。

このように真摯に検討した背景としては、委員会設置当初に主要な浄水場の視察を行い、水道水の高い品質や水道施設の重要性を理解したことに加え、施設の老朽化や厳しい水道事業経営という課題がある中で、登別市の水道事業を持続させなければいけないという状況を認識したことにあると思います。

「登別市水道事業ビジョン」を実効性のあるものにするには、登別市の水道を利用する市民の皆様にも、水道の必要性と水道事業が抱える課題について知っていただいた上で、持続的な事業運営に対する理解と継続的な協力を頂く必要があります。そのために、登別市には市民とのコミュニケーションとして、HPや広報誌、イベント等で水道に関する情報を示していただき、登別市の水道をアピールしながら、市民と行政が連携できる体制をつくって頂くことを期待しております。